

MUEITAN

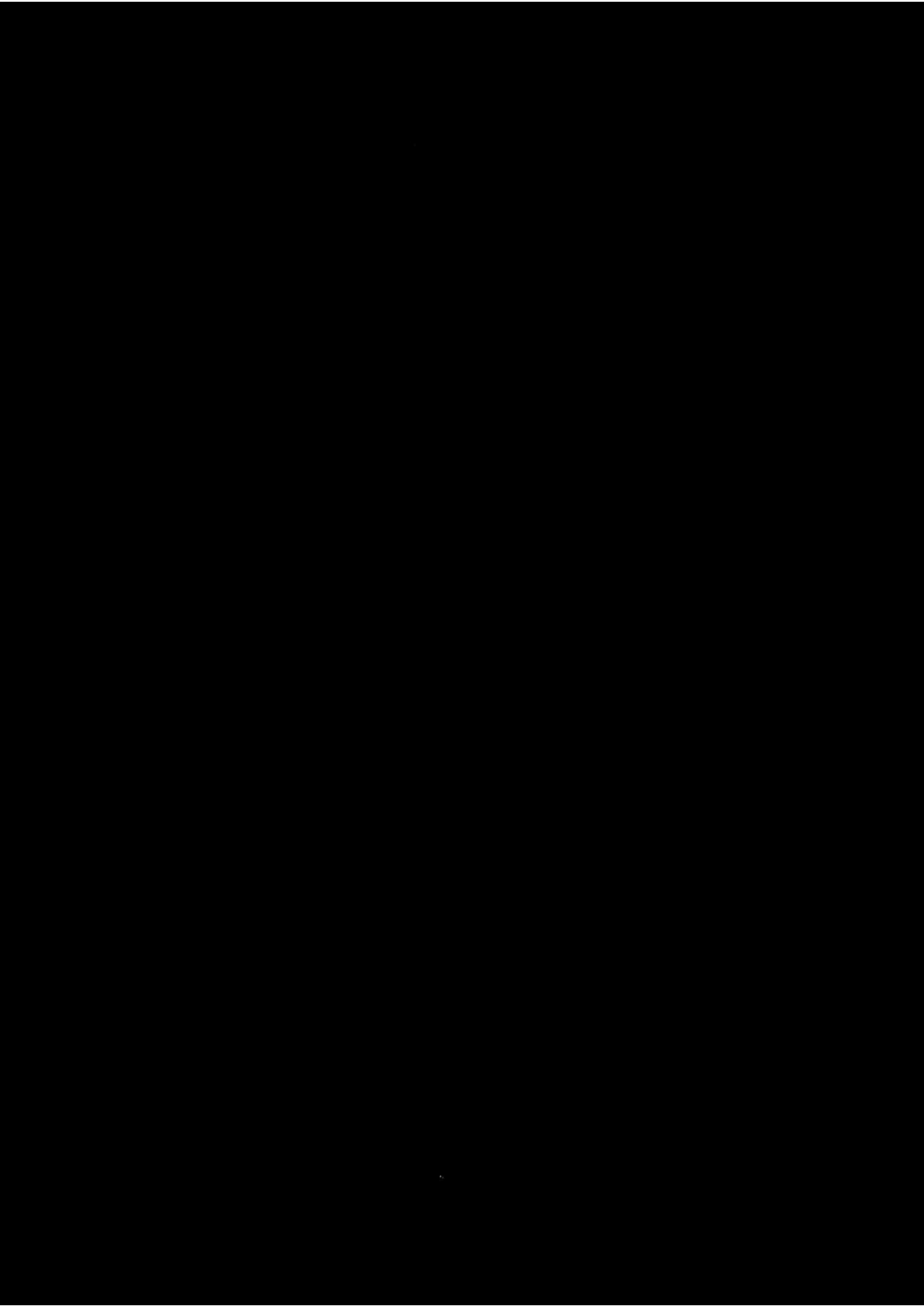
• YUKOKU

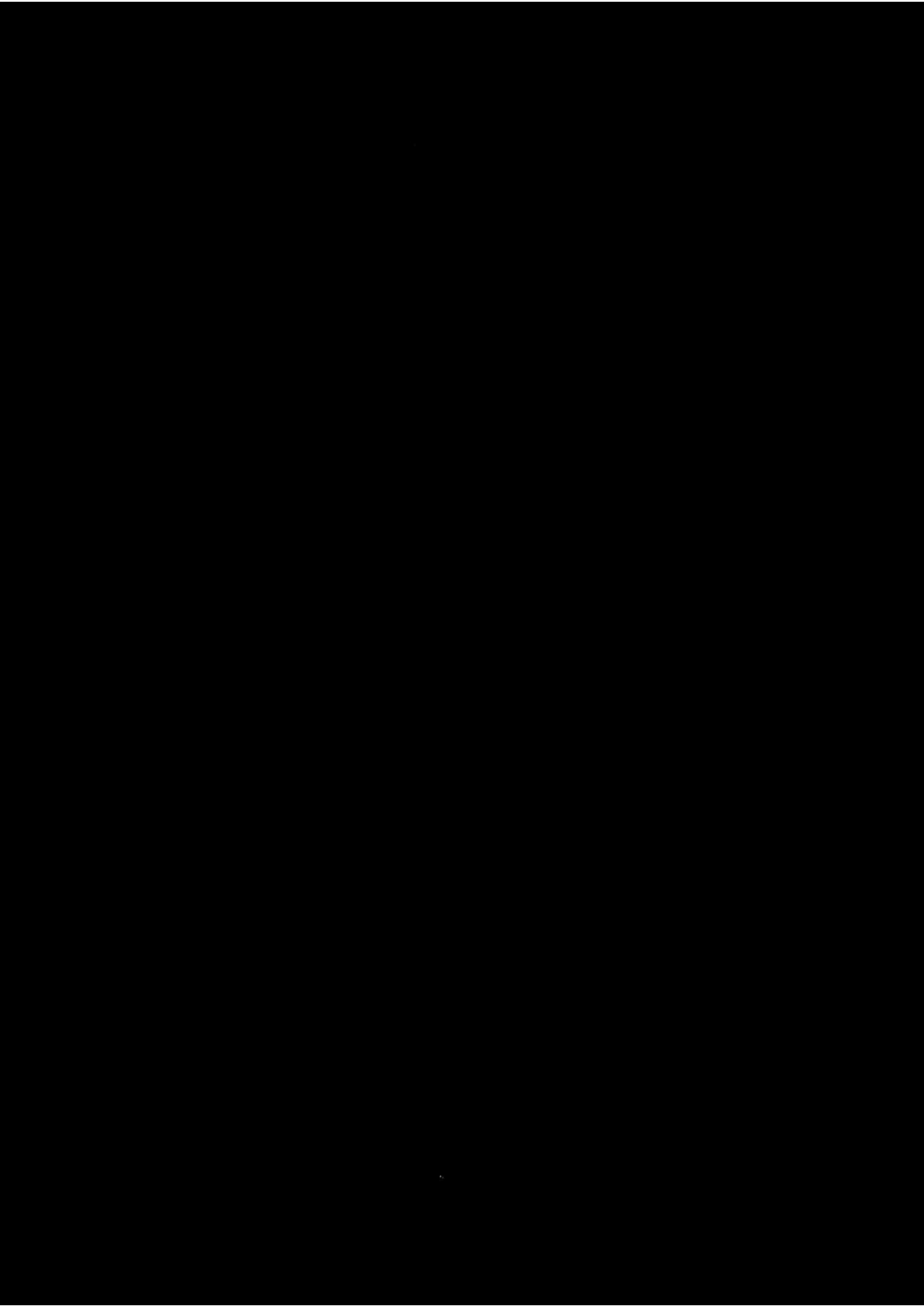
THE CEREMONY
OF
LOVE AND DEATH

夢
影
譚
・
融
圀

むえいたん・ゆうこく

成人指定





本日はご来場いただきまして、誠にありがとうございました。
まもなく開幕でございます。どうぞお席に着いてお待ちください。

夢影譚・融国

1945年

調印式の後、私
—
アメリカ・ハルゼーは
何事もなく
祖国へ帰るはずだった

全てが終わった
大日本帝国を見つめ
忘れえぬ記憶として
永遠に心に留めて
帰るはずだったのだ

しかし

全てはあの
嵐の夜に反転した。

闇、嵐、雷鳴を
引き連れた
皇国の
亡霊たち――

未だ怨讐に
突き動かされる彼らが
私を守る兵士たちを
悉く塵殺し

彼らによつて
私は誘拐され

光届かぬ場所に
監禁された

私の肉を貪り食らう姿は
私の魂さえも穢すかの
ようだった

みたてのかい
「御楯乃会」

救国を謳う
帝国の
怪物たち

彼らの首魁たる
「桐島紘二」は
私を手籠めに
するために

死を希うことも
一度や二度ではない

幾度となく私を
凌辱して犯し続けた

昼も夜もなく
彼は獣欲という
言葉さえ当てはまらない
おぞましい欲望のままに

寝ても覚めても
安寧はなく

意識を闇に
染めてなお

私は深淵に
堕ちてゆく

どこまでも
どこまでも

その魂は今なお
闇の奥深くへと

わがわがわがわが

うわ

うわ

。。。。

カッ
カッ
カッ

!!!

!!!



カッ

...



なぜ皆

同じ貌を
かお



誰?

ここは...



この男は



！ 紘
—
…

桐島
…



ああ
憎らしい

ここまで
辱められて
なお—

その豊かさを
失わぬとは

本当に
憎らしい



ん……ん

す

んう

う……

くちや
くちや



あ…

びん

座興は
終わりだ

くわん



待って



まさか……!!



いつまでも
優しくしてやると
思っていたか?



いやッ



ぬぢ

それだけは



駄目、お願い……

ザッ



やめて

やめなさい……!



あ

め

三

000000

こうして突き破る
感触はこの上なく
甘美だ

裂かれる
感覚…

またお前の
初物を
楽しめる
とはな

私が…

憎悪を込めた声で
桐島は彼女の
柔らかい肌を掴む

サ



引き裂くほどに強く
握り込んだ指が
沈み込む純白の柔軟は

この帝国では
見ることもないものだ



月華の如き金髪も
陶磁器のような肌も

あとけなさ
と知性を
感じさせるその美貌も

豊かさの象徴といえる
その胸も
それに反して
華奢な身体も全てが
憎らしく愛らしい

オオオオオオ

見目の美しさ
だけではない

はあ

はあ

怒りとも執着とも
つかぬ感情のまま

オオオオ

アッ

ああっ

あッ

桐島は彼女を
睨めつける

そろそろ
一度は
出しておくか

そんな

!!!

はあ



うああっ...



ハハハまだ
終わらんよ

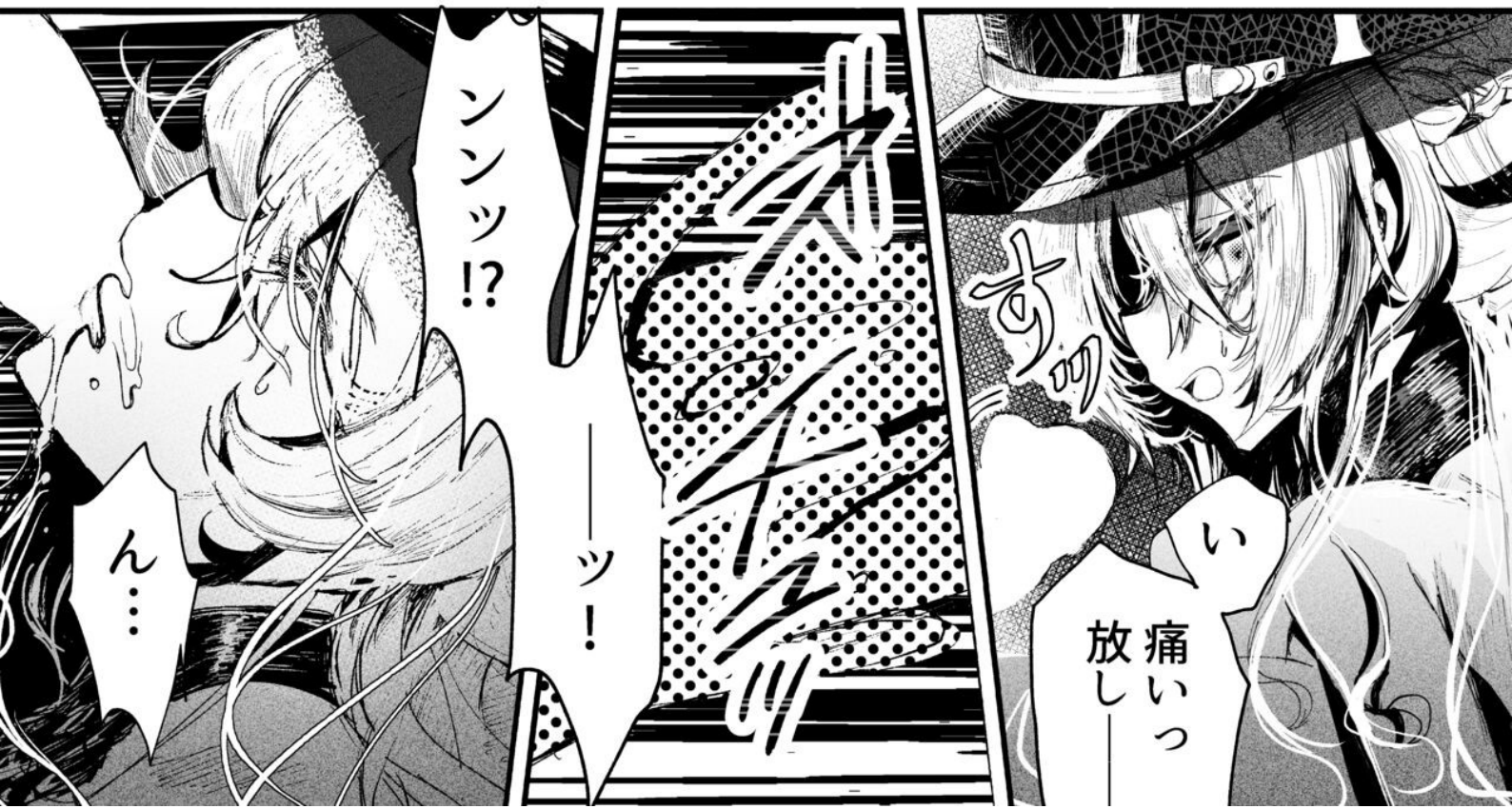
さて後ろも
使うぞ

そこは...

え...

あぁ

ギョッ





んう

う……

ふぐツ

ッ

どうした
休んでいる
暇はないぞ

……!

手が
留守になって
いるようだが?

おは

苦し……

う……

おは……

おは



もう…

ハッ



ハッ
違うない



アッ

たまらん
あの小娘を
手折るのは



もう
やめて…

アッ
アッ
アッ

だが

この程度で
終わらせる
ものか

は…

お前は逃れられぬ
運命なのだ
アメリカ

はあ

や…

あ…



!



パツッ!

あッ

ぽちゅん

やッ

ぬるん

とくっ



はーっ

はあ

はあ



…何故だ

はあ……ッ

きゅん

うっ…



何故

ふん

なぜ

…なんだ
まだまだ
余裕そう
じゃないか



なぜ
そんな目が
できるのだ

ズッ



やめて

父上



だから



父上

もうやめて

僕はまだ
できます



ぼく…

私は立派な
将校さんにな
ります

○○○



おごッ



これが…



自分の立場が
まだわかって
いないようだな
小娘



誰が休んで
いいと言った
？

これが私が
なりたかった
軍人なのか……？

悲劇的なひと

あなたは
弱く孤独で

この
煉獄山の
最果てで

を
求めている

ギ
ッ

…!



クッ...

貴様が...



そうか...



お前が私の何を
知っている

こうすれば
良かったのだ。

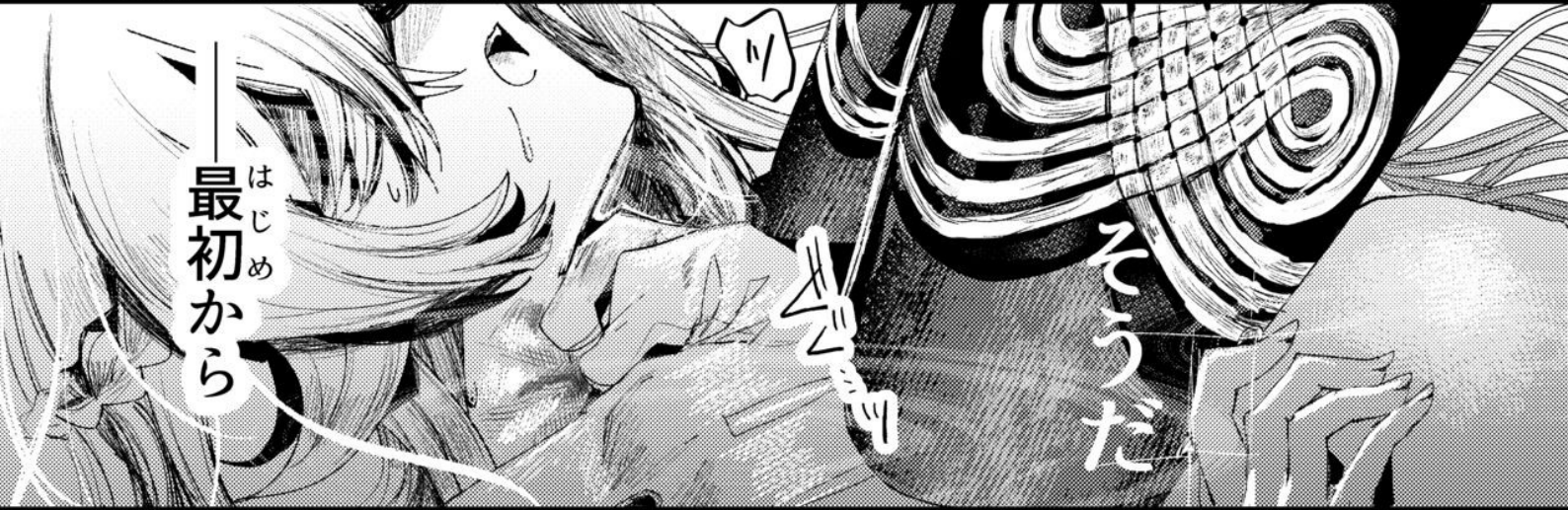
ゲ

……!

うあ……

あッ

やめ……



はじめ
最初から

そうだ



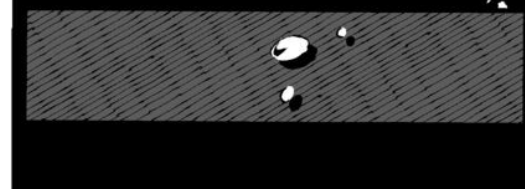


息が…

ございり。



逃げ込んだ先に



都合の良い
地獄など
ありはしない

あるのは



無明の

闇だ



ハッ…

が

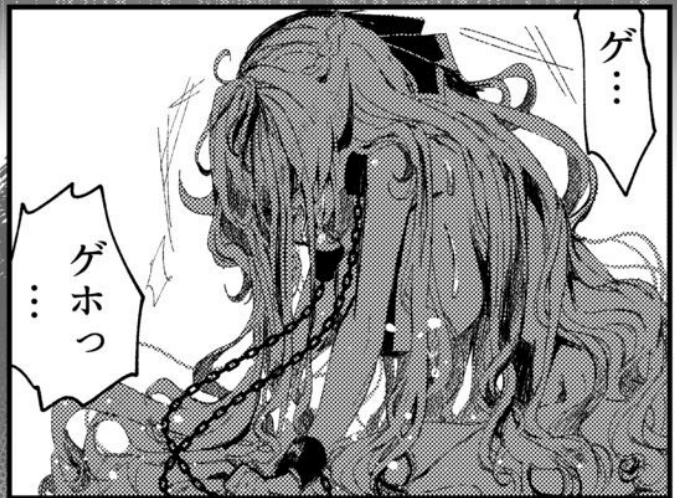
…っ

ばっ



はあ…っ

いや
厭な夢を
見ていた
のね…



随分と
うなされていた
ようだな？



夢が地獄
だったとしても

現実が
優しくは
なるまい

むしろ
より
残酷な
ものだ

桐島……

ア川……

紘一

……!

何者とも
知れぬ貌かたち

……

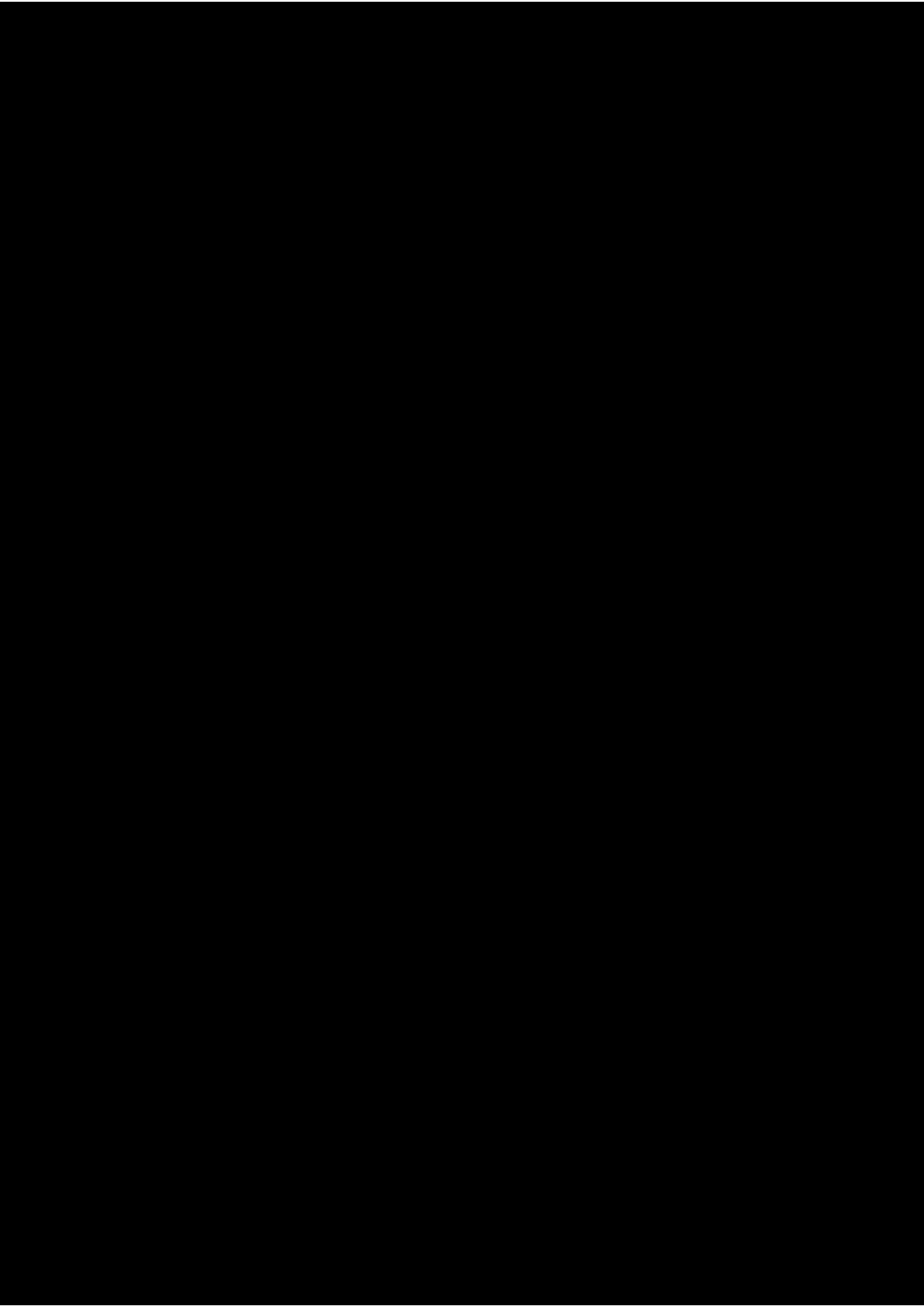
それだけは
ぎらぎらと
凄まじい反射を
あげていた

彼我があいまいな
暗闇の中で

あなたは
……

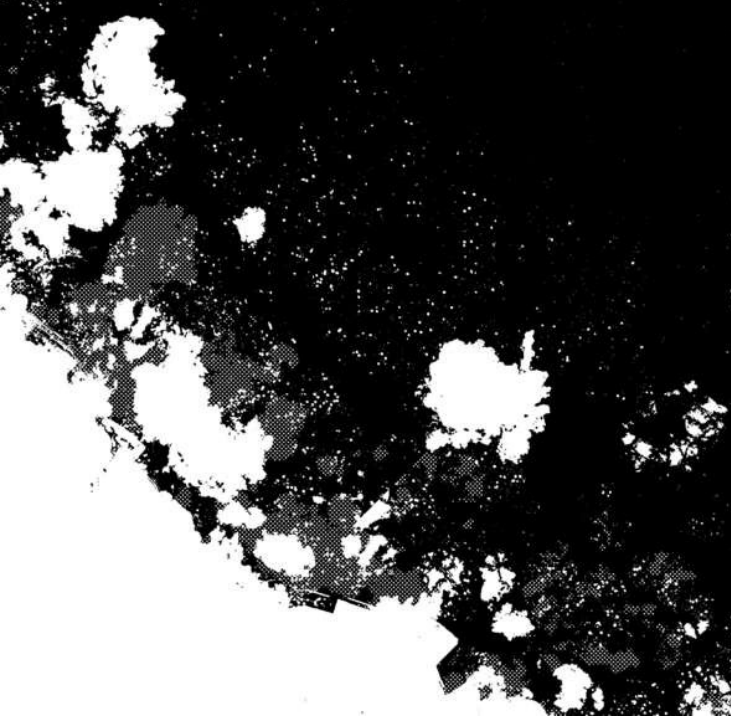
嫌あああああッ！





私は至るところに彼女の投影を視た。そして、

この物語を



終幕

肉バキュームです。
この本を手にとってくださり、誠にありがとうございます。
ございます。

本作は現在制作中のADV作品『融国』のワンシーンを
切り取ったものとなります。
この物語に對して、もしあなたの心の中で
何か微かなものを感じていただけたなら、
幸甚の至りでございます。

最後に、この本を手にとってくださったあなたへ、
最大限の感謝を込めて。
いつの日かまたお会いできることを祈っています。

【ご協力】

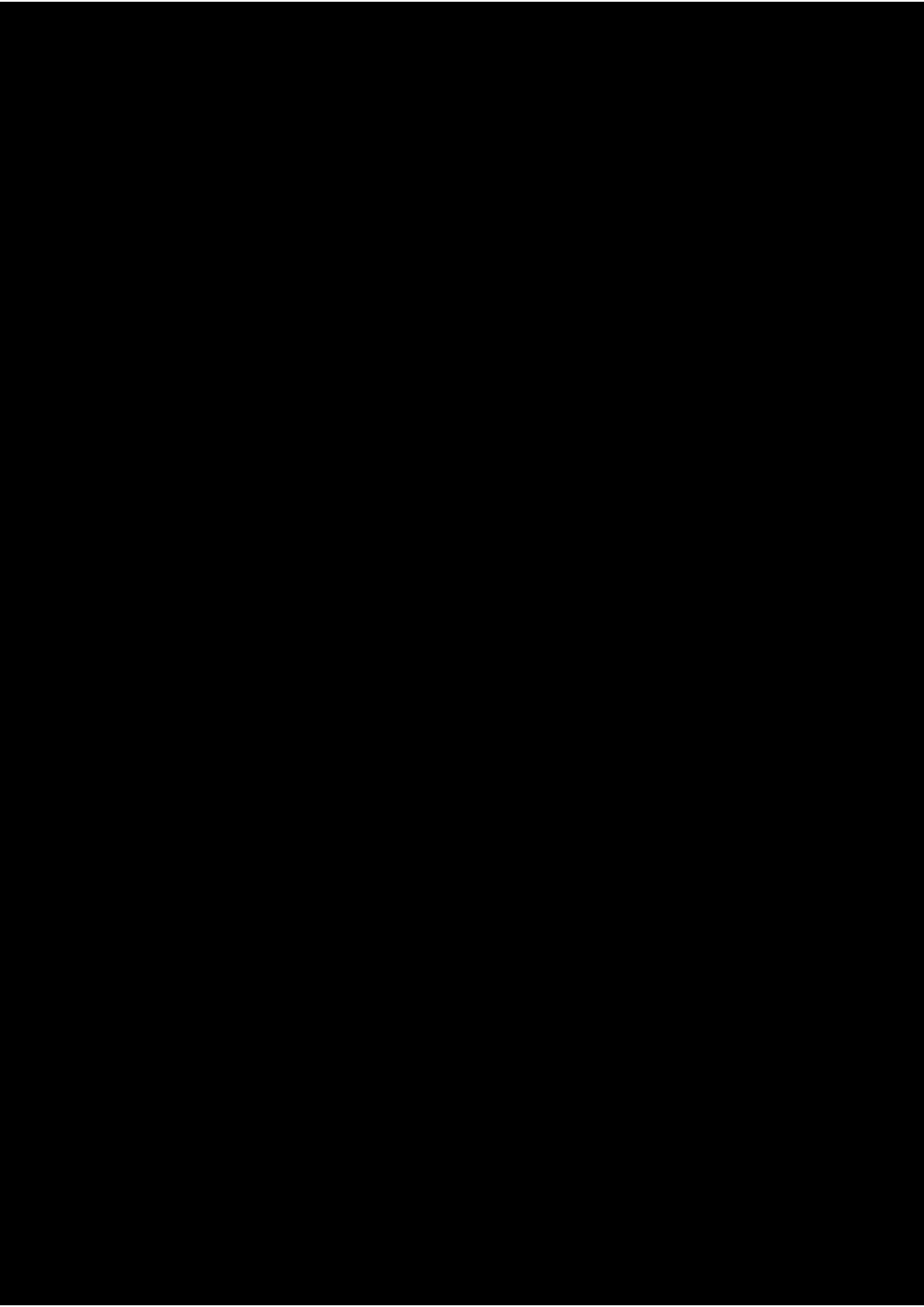
- ホシノ様…表紙デザイン
- 中野信貴様…ネーム
- しゃちほこ様、一限はやめ様…文章校正

『夢影譚・融国』

- 発行日:2023/12/31
- サークル:花飾りの檻
- 発行者:肉バキューム
- twitter(現X):@niku_vacuum(作者アカウント)
@Yuu_Koku_(作品アカウント)
- pixiv:<https://www.pixiv.net/users/36582774>
- お題箱(ご感想):https://odaibako.net/u/niku_vacuum
- 連絡先:nikuvacuum@gmail.com
- 印刷所:サンライズ
- 『融国』公式HP:<https://www.yuu-koku.com/>

ご意見、ご感想をいただけますと励みになります。





THE CEREMONY OF LOVE AND DEATH

夢影譚・融国

むえいたん・ゆうこく

成人指定

ADULT ONLY

ア
メ
リ
ア

×

桐
島

presented by
niku_vacuum

circle name
花飾りの檻